第4回講座

■日時／令和5年5月27日（土）10:00～12:30
■会場／益城町交流情報センターミナテラス視聴覚室（益城町木山236）
■参加／ 26名（うち4名はアーカイブ視聴）

1部　熊本地震の現場から③

「性的マイノリティの困難と支援」

講師：吉村千恵氏（くまにじ運営メンバー /尚絅大学短期大学部総合生活学科講師）

【講座内容】

「災害と LGBTQ」という視点で、過去の災害や熊本地震当時の困難などについて説明いただいた。人は切迫している時に本音や差別的な意識が顕著に表れるということや、災害は平等、しかし被害は不平等で合理的配慮が必要だということなど、新たな気付きを得た人も多かったようである。



2部

「外国人の困難と支援」

講師：佐久間より子氏（コムスタカー外国人と共に生きる会事務局長）

【講座内容】

熊本地震時の在熊外国人の方々の困難な状況についての話を聞いた。言葉の壁だけではない、さまざまな課題を抱え、孤立しがちな外国人への配慮や支援の足りなさを痛感した。また、被災外国人シングルマザーを対象にした調査からは深刻な状況も垣間見え、多様な視点での支援の必要性について再確認する機会となった。







【参加者アンケートより】　＊1期･2期より抜粋

多様性を認めているつもりではいたが、表面的なものでした。

非常時となると ほとんどの人が自分のことで精一杯。悪気はなくとも言葉の通じない外国人の方のことまで頭が回らなかったなと。

外国人のシングルマザーの抱える問題について想像していなかったことが多く、今回のような講座の必要性を痛切に感じました

熊本地震の時、外国人の方に片言でも支援内容を伝えられ、笑顔で返してもらったあの瞬間は、大変な中でも心が通わせられたとホッコリとした思い出です。

第5回講座

■日時／令和5年6月10日（土）10:00～12:30
■会場／益城町交流情報センターミナテラス視聴覚室（益城町木山236）
■参加／ 26名（うち4名はアーカイブ視聴）

1部　熊本地震の現場から④

「子ども･女性の困難と支援」

講師：園田敬子氏（KCW 熊本こども･女性支援ネット共同代表）

【講座内容】

KCW は「発災後の大混乱の中で見逃されがちだった女性と子どもの支援を」と立ち上がった有志で作られた団体。会の発足に至った経緯や、ハグプロジェクトや保育士派遣などの支援についての話を聞きながら、その着眼点や関係機関や団体などとの連携の在り方などに関心が寄せられていた。





2部　災害時の女性と子供に対する暴力問題

「防災領域における女性活躍のこれから」

講師：浅野幸子氏（減災と男女共同参画研修推進センター共同代表）

【講座内容】

１回目の講座に引き続き再び浅野先生を迎え、基礎講座の振り返りと、災害時のジェンダー視点ということで、ジェンダーに基づく DV などの災害時の暴力についての話を聞いた。また東北視察に向けて留意したいポイントについての説明を伺い事前学習を深めた。







【参加者アンケートより】　＊1期･2期より抜粋

熊本地震後4日でKCW発足という超迅速な動きに感動。これこそがソーシャルリースですね。

防災における女性の活躍で社会的公正の見地と人的資源の最大利用について深く考えるきっかけになりました。

環境整備やメンタルケア含め女性に安心な防災を考えていきたいです。

緊急時に見落とされる子どもと女性への支援をするために活動は、まさに男女共同参画社会への力強くて細やかな実践だと思いました。

正直な所、災害時に避難所などでこんなにも性被害やDVなどが起きているという事実に驚きました。